

令和5年 8月23日(水)

あさひの日だまり

NO.18

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～2学期が始まります～

楽しい経験がたくさんできる2学期になりますように

今日から2学期が始まりました。「早く学校始まらないかな～」と友達と会うのが楽しみでならなかった児童。「あ～あ気が重いな～」と、重い足取りで学校へ向かった児童。一人ひとり、色々な心持で校門をくぐって登校したと思います。どの児童にとっても同じように「今日も1日楽しかった!、明日が楽しみだ!!」って思えるようなそんな2学期になることを心から願っています。休み最後の日の職員会で「職員が楽しいと思える学校が子どもたちにとっても楽しい学校になるはずです」というお話を先生方にしました。職員も子どもたちと一緒に、楽しい学校創りを進める2学期にしたいと思います。

2学期も保護者の皆様のご意見をいただきながら学校創りを進めます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

～お願いとお知らせ～

2学期のスタートに当たり、2点お知らせとお願いがあります。よろしくお願いします。

今年度より本校に設置されました「たつのご学舎」に外部から直接相談可能な電話が設置されました。

学校への登校や教室に入ることに抵抗感があるお子様に関する相談を、担当者が直接お受けすることができま
す。何か心配なことがありましたらご遠慮なくお電話ください。また、メールによる相談も受け付けております
のであわせてご利用ください。例年、休み明けには登校に対して不安感を訴えるお子さんが見られます。できる
だけ早い対応がお子さんの不安を軽減することとなりますのでお電話をいただけたらと思います

担当者 教育支援主事 根橋 健治

電話番号 0266-41-0166

メールアドレス tatsunoko0066@tatsuno-school.ed.jp

校内にフレコンパックを設置してアルミ缶回収を開始します。

以前お便りにてお願いしましたように、今年度から本校では PTA による資源物回収を行わず、通年、アルミ缶のみの回収を学校に設置したフレコンパックにて行うこととしました。場所は昇降口の南側です。子どもたちは通学の際にアルミ缶を持参します。児童がおられないご家庭でもしご協力いただける場合には、ご近所のお子さんに手渡していただけたら幸いです。また、ご足労をおかけしますが、お時間の許すときに、直接学校まで持ち込んでいただくことも可能です。子どもたちの教育環境整備へご協力のほどよろしくお願いいたします。



2学期のスタートに当たり、始業式でこんなお話をさせてもらいました。お時間のあ
る時に目を通していただけたら幸いです。

校長先生はこの夏休みあることに挑戦しました。この写真を見て下さい。

そうです。サイクリングに挑戦しました。どこからどこまでサイクリングしたかとい
うとね。次のスライドを見て下さい。

ここが皆さんが暮らしている辰野町ですね。辰野町の隣に箕輪町というところがあり
ます。その隣は、南箕輪村です。その隣は伊那市です。その隣が宮田村です。先生が住
んでいるところは実は宮田村なんです。みなさんの中に宮田村へ行ったことがある人は
いますか?中央道から大きな観音様が見えますよ。あそこが宮田村です。

今回先生は、その宮田村から辰野町までサイクリングをしてみようと決心したんです。



先生はね、毎日だいたい1時間くらいをかけて車で学校まで来ています。それでね、毎朝思っていたんです。一回この道を自転車で来てみたいな～って。でも、きっと途中で「まいりましたもう無理です」ってなっちゃうだろうなって思って、これまで挑戦できないでいたんです。

夏休み前皆さんにお願いをしました。「ぜひこの夏休みに何かに思い切って挑戦して下さい」って。みんなにそうやってお願いをしておいて、自分では何にもしないでいるなんて許されないと思いました。

そこで、心の中でずっと温めていた、先生の家から学校までの往復のサイクリングに挑戦しようと決めたんです。

その朝はとても天気のいい朝でした。奥さんに、先生の決心を思い切って伝えました。

「これから学校まで自転車でやってくる。もし途中でもう無理ってなったら車で助けに来てくれる？」

先生は奥さんの返事を予想していました。なんて予想していたと思う？

「何バカなこと言ってるの！無理に決まってるでしょ！！」って予想していました。だって、家から学校まで25kmもあるんです。行って帰って、50kmです。いつ帰ってこられるかわからないんですから。

ところが奥さんは「いいわよ、もしだめだったら電話してね。車に気を付けていってきてね」と言ってくれたんです。

これはもう後には引けません。挑戦するしかなくなりました。

さあ先生は無事学校までたどり着いたでしょうか。サイクリングの様子を写真でご覧ください。

ここは出発して30分くらいのところにある駅です。名前は沢渡駅。まだまだ余裕です。これはいい調子でいけそうだとこのところを写真で撮ってみました。

次は伊那市駅です。ひざと腰が痛くて、駅のベンチに座り込んだら立てなくなりました。まだまだ半分も来ていません。本気で「ここから引き返そうか」と思いました。同じようにサイクリングをしている先生よりだいたい年上の方がベンチの隣にいました。しばらく一緒に休んできましたが、先生より先に辰野町の方へこぎ出していきました。先生もその人の後を追って出発しました。

南箕輪村に入ったところです。スーパーツルヤさんです。みなさん買い物に行ったことありますか。先生もたまにここまで買い物に来ます。もう足に力が入らなくなってきていて、いつ自転車をこげなくなるか自分でもわからないくらい心配でした。しばらく進んでは休み、また進む感じでした。「もう少しだけ頑張ってみよう」と思って給水をしているところです。

箕輪町のガソリンスタンドです。辰野町はもう目と鼻の先です。もう何も考えないでただただペダルをこぎました。ここまでくると、不思議なんです。何だか足に力が戻ってくるような気がして、足が勝手に動いてる感じでした。

さあ辰野町に入りました。もうすぐ学校です。トンネルが見えてきました。

自分でも、正直に言うと、ここまでたどり着けると思っていなかったんです。何度も何度も家へ電話しようかなと思いました。駅から電車ののっちゃんかなとも思ったんです。それでもね、足を止めずにペダルをこぎ続けていれば自転車は前へ進みます。後ろへ戻ってしまうということは絶対にありません。他の自転車に抜かれて悔しかったり、道路のわきに座り込んでボーっとしたりしながら、3時間くらいをかけて辰野東小へ何とかたどり着きました。

これで先生の挑戦は半分終わりました。さあ残り半分の挑戦が待っています。ここまで来られたんですから、帰れないはずがありません。どんなに時間がかかっても挑戦をやり遂げたいという気持ちでした。しばらく学校で休んでから、また出発しました。

朝の7時ごろに家を出て、午後2時ごろに家に到着しました。

これが先生の夏休みの挑戦です。挑戦する前は、正直言うと、途中でだめだろうと思っていました。でも、頑張ったらできちゃいました。世の中やってみなきゃわからないですね。

先生は今回の挑戦で自分に少し自信ができました。また何かに挑戦してみたいくなりました。

皆さんにも、何かに挑戦して、「やったー」という楽しい気持ちになれる機会がきっとやってきます。「できそうにないからやめとこうかな」とか「心配だな上手くできるかな」って思うことが目の前にきっと出てきます。その時はぜひぜひ思い切って挑戦してみてください。上手くいっても行かなくても、必ず「気持ちの良い達成感」を感じられます。先生は2学期の皆さんそんな素敵な挑戦を期待しています。

先生の話は以上です。